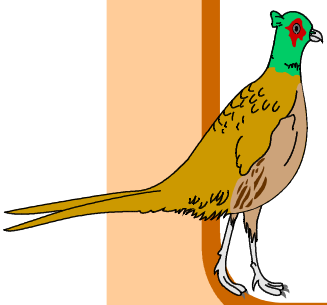
平成２７年度

事　業　実　績　報　告　書

社会福祉法人　秀峯会

介護老人福祉施設きじの里
通所介護事業所きじの里
通所介護事業所清風
訪問介護事業所きじの里
グループホームきじの里
グループホーム清風
居宅介護支援事業所きじの里
五島市在宅介護支援センターきじの里
特定旅客自動車運送事業所きじの里
障害者自立支援事業所きじの里



〒８５３－０３１１
長崎県五島市岐宿町二本楠３７５番地
TEL0959-83-1246.1244　FAX0959-83-1247
http://syuhoukai.jp/
e-mail kijinosato@syuhoukai.jp

目　　次

Ⅰ　介護老人福祉施設きじの里の経営 ---------- １
　１．介護老人福祉施設 ---------- １
　２．短期入所生活介護 ---------- ２
　３．行事実施内容 ---------- ３
　４．職員研修 ---------- ４
　　４．１　施設外研修 ---------- ４
　　４．２　施設内研修 ---------- ５
Ⅱ　通所介護事業所きじの里の経営 ---------- ６
　１．通所介護 ---------- ６
　　１．１　基本方針 ---------- ６
　　１．２　サービス内容 ---------- ６
　　１．３　事業実施内容 ---------- ６
　　１．４　日課表 ---------- ６
　　１．５　利用者状況 ---------- ６
　２．生きがい対応型 ---------- ８
　　２．１　基本方針 ---------- ８
　　２．２　サービス内容 ---------- ８
　　２．３　利用者状況 ---------- ８
　　２．４　行事実施内容 ---------- ９
Ⅲ　通所介護事業所清風の経営 ---------- １０
　１．通所介護 ---------- １０
　　１．１　基本方針 ---------- １０
　　１．２　サービス内容 ---------- １０
　　１．３　事業実施内容 ---------- １０
　　１．４　日課表 ---------- １０
　　１．５　利用者状況 ---------- １１
　２．生きがい対応型 ---------- １２
　　２．１　基本方針 ---------- １２
　　２．２　サービス内容 ---------- １２
　　２．３　利用者状況 ---------- １２
　　２．４　行事実施内容 ---------- １３
Ⅳ　訪問介護・介護予防訪問介護事業所きじの里の経営 ---------- １４
　１．サービス内容（訪問介護） ---------- １４
　２．サービス内容（介護予防訪問介護） ---------- １４
　３．利用者の状況 ---------- １５
　４．利用状況の推移 ---------- １５
Ⅴ　グループホームきじの里の経営 ---------- １６
　１．利用状況 ---------- １６
　２．年間行事実績 ---------- １７
　３．施設内研修 ---------- １８
Ⅵ　グループホーム清風の経営 ---------- １９
　１．利用状況 ---------- １９
　２．年間行事実績 ---------- ２０
　３．施設内研修 ---------- ２１
Ⅶ　居宅介護支援事業所きじの里の経営 ---------- ２２
　１　要介護度別利用状況 ---------- ２２
　２　給付管理表の提出状況 ---------- ２３
Ⅷ　五島市在宅介護支援センターきじの里の経営 ---------- ２４
　１．事業実績累計 ---------- ２４
　２．実態把握件数 ---------- ２４
Ⅸ　介護報酬の状況 ---------- ２５
Ⅹ　事故、ヒヤリ・ハット発生状況 ---------- ２６
Ⅺ　生活困窮者対策実施状況 ---------- ２９

Ⅰ　介護老人福祉施設きじの里の経営

１．介護老人福祉施設

平成２７年度中における各月１日現在の入所者数を表１に示す。表２及び図１に、平成２８年３月３１日現在（今後特に表記がない場合、示された数値は全て平成２８年３月３１日現在のものである。）の地区別入所者数を示す。

表３に入所者の年齢分布及び入所期間を示す。８０才以上が７８％と高齢化が進み平均入所期間は２年９ヶ月である。

また、入院日数は延べ５３９日、外泊１１日、稼働率は９６．５％であった。

表１　月別入退所者数の状況

	１日現在入所者数	月内の異動 入所	月内の異動 退所	当該月延べ人数
平成２７年４月	５０	０	１	５０
平成２７年５月	４９	１	０	５０
平成２７年６月	５０	０	０	５０
平成２７年７月	５０	３	４	５３
平成２７年８月	４９	２	１	５１
平成２７年９月	５０	２	２	５２
平成２７年10月	５０	４	５	５４
平成２７年11月	４９	２	１	５１
平成２７年12月	５０	２	２	５２
平成２８年１月	５０	１	１	５１
平成２８年２月	５０	０	０	５０
平成２８年３月	５０	３	３	５３

表２　地区別入所者の状況

地　区	男性	女性	入所者数
旧福江市	４	１０	１４
岐宿町	４	１８	２２
玉之浦町	１	５	６
富江町	１	２	３
三井楽町	０	３	３
奈留町	１	１	２

図１　地区別入所者数

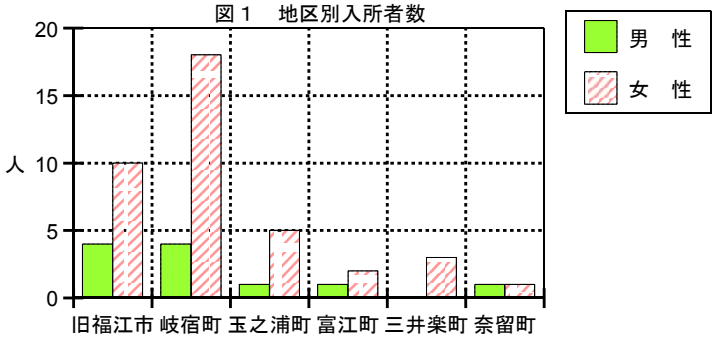


表３　入所者の年齢分布及び入所期間

年齢区分（歳）	性別	人数	入所期間 ６ヶ月未満	６ヶ月～１年未満	１年以上５年未満	５年以上
～６４	男	１			１	
	女	２	１		１	
６５～６９	男	０				
	女	０				
７０～７９	男	３	３			
	女	５	１		４	
８０～	男	７	２		４	１
	女	３２	３	４	１９	６
合　計		５０	１０	４	２９	７

平均年齢　男性８１．５才
女性８５．３才
平均８４．４才

平均入所期間　男性　２年　４ヶ月
女性　２年１０ヶ月
平均　２年　９ヶ月

表４及び図２に平成２８年３月末の入所者の介護度を示す

要介護１：　０％
要介護２：　８％
要介護３：２８％
要介護４：３６％　９２％
要介護５：２８％

平均介護度　３．８７

表４　入所者の要介護度

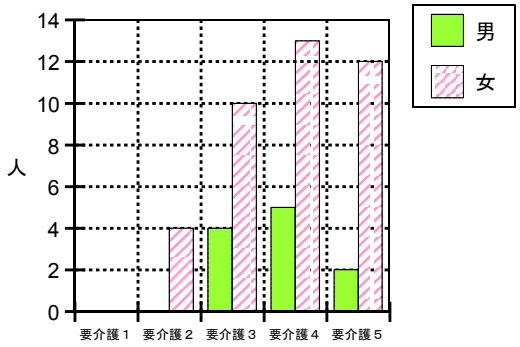
区　分	男	女	計
要介護１	０	０	０
要介護２	０	４	４
要介護３	４	１０	１４
要介護４	５	１３	１８
要介護５	２	１２	１４
合　　計	１１	３９	５０

＜認知区分状況＞

（Ⅰ）時々あり　：　５名（１０％）
（Ⅱ）ややあり　：１２名（２４％）
（Ⅲ）やや多い　：２３名（４６％）
（Ⅳ）非常に多い：１０名（２０％）　６６％
（Ｍ）重度　　：　０名（　０％）

平均介護度は３．８７、要介護３以上の利用者が９２％を占めている。また、嚥下困難で、胃ろう手術を行っているご利用者様が４名、経管栄養（鼻腔）のご利用者様が２名入所している。

図２　要介護度分布状況



２．短期入所生活介護

表５　短期入所月別利用者数の状況

表５に短期入所生活介護事業（ショートステイ）月別利用者数の状況を示す。

前年は延べ２，７２７日の利用であったが、２７年度は２，７８０日と５３日増、障害者自立支援ｼｮｰﾄ利用は７１日あり、稼働率は ７７．９％であった。

１日平均７．８人、平均介護度３。

ｼｮｰﾄｽﾃｲ事業所や有料老人ﾎｰﾑが増えた為、ｼｮｰﾄ利用者が減少傾向であるが、入所待ちの長期利用者も平均５名ほどいる状態である。

	延べ日数			当該月実利用者数	障害者自立支援ｼｮｰﾄ延べ日数
	介護保険	私的契約	合　計		
４月	２４１	１６	２５７	１５	０
５月	２６０	２２	２８２	１８	０
６月	２６８	１３	２８１	１８	０
７月	２１０	３	２１３	１７	１０
８月	１９４	９	２０３	１５	１４
９月	２２６	３	２２９	１８	１２
10月	２１９	５	２２４	１７	１０
11月	２３７	３	２４０	２０	１０
12月	２５９	１０	２６９	１７	１０
１月	１９５	４	１９９	１２	０
２月	１６９	３	１７２	１２	５
３月	２０９	２	２１１	１７	０
合計	2,687	93	2,780	１９６	７１

表６　介護度別ショートステイ利用者延べ日数

予防ｼｮｰﾄ	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合　計
１７９	２２６	５９８	８８０	６８４	２１３	２，７８０

経管（鼻腔）栄養者：０名

３．行事実施内容

表７に平成２７年度中に実施した行事等を示す。ユニット毎にそうめん流し、蛍狩り、花火大会、焼き芋、地域の祭りなどに参加したりして、ご利用者様に季節感を味わってもらった。また運動会、納涼祭、敬老会、文化祭を実施し、地域の皆様との交流を図った。

火災の防止と万一の災害発生に備えて、夜間と昼間を想定した総合避難訓練をそれぞれ１回（計２回）、さらに消火器、パッケージ型消火器を用いた消火訓練を１回実施した。

表７　平成２７年度年間行事実施表

月	行事計画	日	実　　施
4	花見 誕生会	17 18	桜見物 御大師参り 誕生会
5	入所者健康診断 母の日	 1 3 16	入所者健康診断 （血液検査） つわむき ワックスかけ 少林寺拳法見学
6	運動会 誕生会 父の日	14 19	ﾊﾞﾗﾓﾝｷﾝｸﾞ応援 あじさい見物/漁津ｹ崎
7	七夕まつり 誕生会 介護体験	7 18 21 25	七夕会 ﾊﾞｽﾊｲｸ/三井楽 南高介護体験 流しそうめん
8	誕生会	8 20	納涼祭 縁日
9	敬老祝賀会 誕生会	10 19 26 27	誕生会 ﾊﾞｽﾊｲｸ/堂崎教会 敬老会 お月見会
10	誕生会 バスハイク	12 14 22 27 31	ワックスかけ ﾊﾞｽﾊｲｸ/漁津ヶ崎 避難訓練（昼間想定） 誕生会 焼き芋
11	誕生会	15	文化祭
12	大掃除 クリスマス 誕生会 もちつき大会 避難訓練 忘年会	12 14 24 27	岐宿中学校ﾊﾝﾄﾞﾍﾞﾙ 山内保育園ｸﾘｽﾏｽ会 山内小学校ｸﾘｽﾏｽ会 門松作り 餅つき
1	新年祝賀会 鏡開き 誕生会	1 1 2 28 31	ｶﾗｵｹ大会 初詣/住吉神社 ししまい 入所者健康診断 （XP） 誕生会
2	節分・豆まき 誕生会 介護体験	3 5 9 11 27	節分・豆まき 岐宿中学校介護体験 誕生会 出張回転寿司 つわむき
3	ひな祭り 誕生会	3 22 24	雛祭り 南高ﾁｭｰﾘｯﾌﾟﾌﾟﾚｾﾞﾝﾄ バスハイク/漁津ヶ崎 避難訓練 （夜間想定）

４．職員研修

４．１　施設外研修

平成２７年度中における職員研修の実施状況を表８に示す。施設内外での研修を実施し、職員の資質向上に努めた。

表８　職員の研修実施状況（施設外）

部署・人数	職　種	実　施　日	場　所	内　容
特養1名	介護職	5月28日～5月29日	長崎市	中堅職員研修会
特養1名	看護職	6月 2日	長崎市	施設看護師研修会
介護1名	介護職	6月11日～6月12日	長崎市	チームリーダー研修会
特養1名	介護職	6月17日～6月19日	福岡市	ユニットリーダー研修
特養1名	介護職	6月18日～6月19日	長崎市	初任者研修会
特養1名	介護職	6月24日	〃	夜勤時のリスクマネジメント研修会
特養1名	介護職	7月 6日～7月10日	福岡市	ユニットリーダー研修（実習）
特養1名	介護職	7月 7日～7月 8日	長崎市	身体拘束廃止推進員養成研修
特養1名	事務員	7月10日	長崎市	労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度取組のポイントと職場の安全配慮義務について
特養1名	相談員	7月22日	長崎市	認知症と精神疾患対応研修会
特養1名	介護職	7月23日	〃	介護技術の伝え方研修会
特養1名	施設長	7月23日～7月24日	鹿児島	九州老人福祉施設協議会職員研究大会
特養1名	施設長	9月 9日	長崎市	生活困窮者自立支援フォーラム
特養1名	看護職	9月30日	福岡市	ストレスチェック実施者養成研修
特養1名	看護職	10月21日～10月22日	諫早市	喀痰吸引等指導者研修
特養1名	介護職	11月11日	長崎市	初任者フォローアップ研修会
特養1名	介護職	11月12日	〃	中堅職員フォローアップ研修会
特養1名	介護職	11月13日	〃	チームリーダーフォローアップ研修会
特養1名	施設長	11月24日～11月25日	仙台市	全国個室ユニット型推進協議会　全国大会
特養1名	ケアマネ	12月15日	長崎市	社会福祉法人の公益事業の実施について
特養1名	施設長	2月 1日	〃	社会福祉法人制度改革セミナー
特養1名	介護職	2月19日	諫早市	長崎県ユニットケア研修会
GH　2名	介護食	3月 3日	〃	喀痰吸引研修会（実習）
特養1名	介護職	3月 3日	〃	喀痰吸引研修会
特養2名	介護職	3月11日～3月12日	〃	喀痰吸引研修会（実習）
特養1名	ケアマネ	3月11日	長崎市	ソーシャルワーク実施力強化研修

４．２　施設内研修

サービス向上に不可欠な職員の資質向上、及び施設経営理念の理解のため各種研修会を開催した。さらに、参加した各種研修会に関する報告会を開催し、新しいサービス内容、技術習得のための内部研修を実施した。これらの結果を表９に示す。

表９　施設内研修会・勉強会の開催状況

開　催　日	研　修　会　・　内　容	参加者
4月 1日、2日 ＜新人研修＞	＜新人研修＞ ・接遇　・介護技術　・リハビリ・看護	新人１名
4月 ＜新人合同研修＞	＜きじの里・たちばな荘・こえばる新人合同研修＞ ・秀峯会基本理念	新人１名
6月16日、17日 ＜到達度勉強会＞	＜移乗介助＞ ・介護技術の基本動作のボディメカニクスの用語説明と実演 ・端座位から車椅子への移乗介助方法	計36名
7月15日、16日 ＜到達度勉強会＞	＜オムツ交換＞ ・オムツ交換の基本的な手順説明及び実技指導	計33名
9月28日、29日 ＜到達度勉強会＞	＜体位変換＞ ・体位を変えるときの注意点及びクッションの置き方	計31名
10月8日 ＜リスク勉強会＞	＜事故発生時の対応＞ ・心肺蘇生について	計26名
10月8日 ＜接遇、認知症研修＞	＜高齢者とのコミュニケーションの取り方＞ ・言葉使いについて（正しい敬語の使い方） ・認知症の方への対応について	計26名
10月8日 ＜感染症食中毒予防研修＞	＜感染症、食中毒予防について＞ ・嘔吐物処理の仕方について ・感染症の基礎知識予防について	計26名
11月25日、27日 ＜到達度勉強会＞	＜介護保険について＞ ・在宅サービスについて ・施設サービスについて	計45名
1月15日、116 ＜到達度勉強会＞	＜特浴介助について＞ ・特浴機械の操作及び入浴介助の基礎知識、実技指導	計32名
2月19日、20日 ＜到達度勉強会＞	＜衣服の着脱＞ ・全盲で左半身麻痺の方の端座位状態での衣類交換	計29名
3月24日 ＜非常災害時の対応研修＞	＜災害発生時の対応について＞ ・防災計画について（職員編成、避難場所など確認）	計33名
3月29日 ＜身体拘束、虐待研修＞	＜身体拘束廃止、虐待防止について＞ ・身体拘束をせずに行う3原則・緊急やむを得ない場合の対応 ・虐待とは何かを学び防止する	計28名
3月29日 ＜感染症、看取り研修＞＞	＜感染症予防、ターミナルケアについて＞ ・感染症の予防、まん延防止について ・ターミナル期の症状、対応について	計28名

Ⅱ　通所介護事業所きじの里の経営

１．通所介護

１．１　基本方針

要介護状態等となった場合においても、その利用者が可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行い、心身機能の維持、向上に資するよう事業を実施した。

１．２　サービスの内容

①利用日は年始３日を除き、毎日実施
①利用定員は１日２５名（ おおむね要介護認定者１０名、介護予防支援者１０名、生きがい及び通所Ａ型５名）
③利用料は利用内容により一割の自己負担
④パワーリハビリテーション
　パワーリハビリ器具を使用して機能訓練実施、サーキット訓練、ボール運動を実施。
⑤レクリエーション活動
　輪投げ、ゲート通しリレー、ビンゴーゲーム、お菓子作り、バスハイク
⑥クラブ活動
　手工芸、ちぎり絵、カラオケ、陶芸、

１．３　事業実施内容

各個人の通所介護計画に基づき、下記のサービスを提供
　１）送　　迎　専用車で送迎
　２）健康状態の確認　　血圧、体重、全身状態の観察と、健康管理指導
　３）食　　事　カロリー、栄養などを計算した献立に基く暖かい食事の提供
　４）入　　浴　一般浴、特殊浴を実施
　５）介　　護　移動や排泄の介助、見守り等のサービス
　６）機能訓練　機能訓練指導員の指導の下に、個別的に日常生活動作の訓練を実施
　７）生活相談　利用者の生活や心身機能についての相談、援助等
　５）その他日常生活に必要なサービス

１．４　日課表

8:00	9:00	12:00	13:30	15:30	16:30
専用車にて迎え	健康チェック　機能訓練　入浴　マッサージ　レクリエーション	昼食　休憩	入浴　マッサージ　機能訓練　くつろぎ　クラブ活動	おやつ　休憩	専用車にて送り

１．５　利用者状況

表１０、１１に平成２６年度、２７年度要介護度別通所介護利用者数を示す。平成２７年度の利用者数の変動状況としては、死亡が２名で施設入所等が５名の計７名となっている。利用延べ人数では、前年度に比べ新規利用者も増えて487名の増加となっている。新年度も職員一丸となってデイ利用者からの情報、親戚、介護支援専門員と連絡を取り合って新規の要介護認定を受けた新規利用者の増加を目指していく。

表１０　平成２６年度　要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要支援１	170	165	136	146	116	158	150	152	128	123	113	128	1,685
要支援２	75	78	106	95	89	113	121	130	130	117	106	116	1,276
要介護１	62	66	55	58	59	67	56	52	42	42	43	38	640
2	31	33	34	28	27	32	58	56	56	55	55	49	514
3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	10
4	32	29	36	34	34	33	41	47	49	35	26	49	445
5	0	0	0	3	4	3	5	5	2	0	0	0	22
合計	370	372	367	361	325	403	426	437	405	372	343	389	4,570

表１１　平成２７年度　要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要支援１	135	105	129	133	100	129	135	109	84	56	54	53	1,222
要支援２	122	123	124	134	141	148	131	137	106	92	100	84	1,442
総合事業	0	0	0	0	0	0	30	59	74	91	132	129	515
要介護１	57	69	61	70	80	80	88	60	48	49	63	84	809
2	46	45	32	13	0	8	9	22	21	18	22	22	258
3	9	7	10	9	8	20	11	10	8	8	9	9	118
4	53	57	50	70	72	63	72	66	67	39	42	42	693
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	422	406	406	429	401	448	476	463	408	353	422	423	5,057

表１２　地区別通所介護利用登録者数

居住地・性別	男	女	合　計
岐　宿	０	８	８
川　原	２	４	６
志田尾	０	１	１
松　山	０	６	６
寺　脇	０	０	０
坂の上	２	３	５
城	４	９	１３
南　部	０	５	５
二本楠	５	７	１２
玉之浦	０	８	８
福　江	２	０	２
大　曲	１	０	１
合　計	１６	５１	６７

	最高	最低	平均
男	９０	７４	84.1
女	９６	７２	83.3
全体平均　８３．５歳			

表１３　通所介護デイサービス月別利用者数の推移

	４月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	１月	2月	3月	合　計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	28	29	31	363
利用者数	422	406	406	429	401	448	476	463	408	353	422	423	5,057
１日平均	14.0	13.0	13.5	13.8	12.9	14.9	15.3	15.4	13.1	12.6	14.5	13.6	13.9

２．生きがい対応型．通所Ａ型事業デイサービス

２．１　基本方針

日常生活において、自立した生活が維持できるようレク活動やクラブ活動を通じて、要介護状態への進行を防止するとともに、機能訓練指導員の指導によるパワーリハビリテーションを実施し体力の維持向上を図った。

２．２　サービスの内容

①利用日は年始３日を除き、毎日実施
②利用料金は、生きデイが８００円．通所Ａ型が８００円。
③機能訓練指導員によるパワーリハビリテーションの実施
④レクリエーション活動（輪投げ、ゲート通しリレー、ビンゴゲーム、お菓子作り
⑤クラブ活動（手工芸、陶芸、カラオケ、ちぎり絵など）
⑥バスハイク（季節に応じて、花見などへバスハイクを実施した）
⑦生活相談　利用者の生活や心身機能についての相談、援助等
⑧その他日常生活に必要なサービス

２．３　利用者状況

表１４、１５に年間利用者数を示す。平成２７年度の利用延べ人数としては、344名の減となっている。

27年10月から総合事業通所Ａ型の委託が始まり認定者も増えてきている状況である。生きデイに変わる事業として、通所Ａ型の利用者の増加を図っていく。

今後、デイの一日体験等を実施して新規利用者の増加に取り組んでいく。

表１４　生き甲斐デイ利用者数

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	3月	合　計
２３年度	57	64	67	71	63	71	65	72	63	64	67	63	787
２４年度	63	69	62	68	46	64	61	59	53	54	60	60	719
２５年度	50	49	44	55	36	50	49	48	41	48	47	41	558
２６年度	47	48	48	53	38	52	47	39	43	37	47	53	552
２７年度	20	20	14	12	10	16	14	14	13	13	11	12	169

表１５　二次予防デイ利用者数の推移

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	3月	合　計
２４年度	24	22	28	27	19	18	27	22	26	22	17	21	273
２５年度	12	15	12	8	3	2	0	0	0	0	0	0	52
２６年度	4	4	4	4	5	4	0	0	0	0	0	0	25
２７年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

通所型サービスＡ利用者数の推移（27年10月から通所A開始）

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	3月	合　計
２７年度	0	0	0	0	0	0	8	9	5	3	14	25	64

表１６　生きがい対応型・通所Ａ型サービス月別サービス実施回数及び利用者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	１月	2月	3月	合 計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	28	29	31	363
利用者数	20	20	14	12	10	16	22	23	18	16	25	37	233
1日平均	0.6	0.6	0.4	0.3	0.3	0.5	0.7	0.7	0.5	0.5	0.8	1.2	0.6

表１７　生きがい対応型、通所Ａ型、地区別利用登録者数

居住地・性　別	男	女	合　計
松　　山	0	0	0
寺　　脇	1	0	1
坂　の　上	0	0	0
城	0	2	2
南　　部	0	1	1
二　本　楠	0	4	4
岐　　宿	0	0	0
荒　　川	0	1	1
合　　計	1	8	9

	最高	最低	平均
男	８８	８８	８８
女	９０	７６	85.7
全体平均　８６．０歳			

＊通所介護と合わせると、１日平均利用者数は　１４．５人

２．４　行事実施内容

表１８　行事実施内容

	計　　画	実　　施		計　　画	実　　施
４月	バスハイク 貼り絵	魚津ヶ崎公園（菜の花） 足湯（荒川） 貼り絵	10月	バスハイク 避難訓練 貼り絵	秋桜花見（10/5～10/9 ） 避難訓練（22日） ちぎり絵．紙細工
５月	貼り絵 お菓子作り	貼り絵 ホットケーキ	11月	文化祭 バスハイク 布細工	きじの里文化祭（15日） 足湯（荒川） ちぎり絵．　お好み焼き
６月	運動会 バスハイク 誕生会	きじの里運動会6/6 紫陽花花見 誕生会　（6/22～6/26）	12月	忘年会・誕生会 貼り絵	誕生忘年会14日～18日 ちぎり絵．門松
７月	七夕飾り 買い物ツアー	七夕飾り（１日～） 足湯（荒川） 買い物（シティモール）	１月	新年会 福笑い 折り紙細工	新年会．福笑い（4～10日） 布細工．傘作り
８月	納涼祭 折り紙細工	きじの里納涼祭（8日） 文化祭作品作り、かき氷	２月	節　　分	豆まき（3日） ２／１１　回転寿司
９月	誕生会 陶芸	誕生会（9/21～9/25） きじの里敬老会 箸置き作成	３月	雛 祭 り 避難訓練 誕生会　・花見	３日 避難訓練（24日） 誕生会・花見3/25～3/31

Ⅲ　通所介護事業所　清風の経営

１．通所介護

１．１　基本方針

要介護状態等となった場合においても、利用者が可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行い、心身　機能の維持・向上に資するよう事業を実施した。

介護予防対策者については、日常生活において自立した生活が維持できるよう、レクリエーション活動やクラブ活動を通じて、要介護状態への進行を防止するとともに、運動器による機能向上を機能訓練指導員の指導の下実施し、体力の維持向上に資するよう事業を実施した。

１．２　サービスの内容

①利用日は土、日、年始３日を除き、毎日実施
②利用定員は１日１５名（ おおむね要介護認定者８名、介護予防支援者６名、生きがい利用者１名）
③利用料は利用内容により一割の自己負担
④機能訓練
　筋力増強運動及び平行棒、プーリー等の各種器具を使用しての機能訓練を実施
⑤レクリエーション活動
　風船バレー、ペットボトルボーリング、室内ペタンク、脳トレ（頭の体操）など
⑥クラブ活動
　手工芸、クラフトバンド作品制作、折り紙、編み物など

１．３　事業実施内容

各個人の通所介護計画に基づき、下記のサービスを提供
１）送　　迎　専用車で送迎
２）健康状態の確認　　血圧、体重、全身状態の観察と、健康管理指導
３）食　　事　カロリー、栄養などを考慮した暖かい食事の提供
４）入　　浴　一般浴、特殊浴を実施
５）介　　護　移動や排泄の介助、見守り等のサービス
６）機能訓練　機能訓練指導員の指導の下に、個別的に日常生活動作の訓練を実施
７）生活相談　利用者の生活や心身機能についての相談、援助等
８）その他日常生活に必要なサービス

１．４　日課表

8:00	9:00	12:00	13:30	15:00	16:30
専用車にて迎え	健康チェック 機能訓練 入浴 マッサージ	昼食 休憩	マッサージ 機能訓練 クラブ活動 レクリエーション	おやつ 休憩	専用車にて送り

１．５　利用者状況

表１９、２０に平成２６年度、２７年度、要介護度別通所介護利用者数を示す。２６年度と比較して、８１４名増。利用登録者は増加しているが、１月以降体調不良による休みや入院、老人ホーム等への入所等が増えており、利用者数が減少してきている。今後も継続して関係機関及び居宅介護支援事業所と連絡を取り合い、要介護認定を受けた新規利用者の獲得に努める必要がある。

表１９　　２６年度　要介護度別デイサービス月別利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要支援１	65	56	55	68	73	64	58	54	62	53	68	86	762
要支援２	4	7	2	7	12	13	11	12	12	14	10	16	120
要介護１	36	49	51	32	25	32	48	37	34	18	60	60	482
２	10	1	2	8	5	8	9	10	12	7	10	11	93
３											16	18	34
４	8	9	9	19	20	13	15	15	17	14	15	16	170
５	18	15	17	21	24	25	28	23	8	24	22	28	253
合計	141	137	136	155	159	155	169	151	145	130	201	235	1914

表２０　２７年度　要介護度別デイサービス月別利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
事業対象者							8	12	26	17	27	39	129
要支援１	78	68	76	85	60	65	55	61	56	46	62	75	787
要支援２	15	30	31	23	24	21	20	26	23	16	27	25	281
要介護１	58	59	61	63	75	81	75	75	86	50	56	60	799
２	21	16	15	13	26	26	26	26	26	22	31	26	274
３	21	22	25	28	12	14	14	15	10	8	8	6	183
４	22	18	22	18	21	22	22	21	13	18	24	23	244
５	12	10	9										31
合計	227	223	239	230	218	229	220	236	240	177	235	254	2728

表２１　地区別通所介護利用登録者数

居住地 性別	男	女	合計
大荒町		3	3
紺屋町	1		1
上大津町	3	3	6
上崎山町		1	1
木場町	1	4	5
籠淵町		1	1
幸町		2	2
中央町		3	3
坂の上町		1	1
東浜町		1	1
武家屋敷		1	1
松山町	1	2	3

	最高	最低	平均
男	80	89	83
女	97	69	83
全体平均　　83歳			

吉久木町		2	2
吉田町		1	1
岐宿町		1	1
富江町		3	3
合　　計	6	29	35

表２２　通所介護デイサービス月別利用者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	１月	2月	3月	合 計
実施日数	22	21	22	23	21	22	22	21	23	20	21	23	261
利用者数	227	223	239	230	218	229	220	236	240	177	235	254	2728
１日平均	10.3	10.6	10.9	10	10.4	10.4	10	11.2	10.4	8.9	11.2	11	10.4

２．生きがい対応型デイサービス

２．１　基本方針

日常生活において、自立した生活が維持できるようレク活動やクラブ活動を通じて、要介護状態への進行を防止するとともに、機能訓練指導員の指導による個別機能訓練を実施し体力の維持向上を図った。

２．２　サービスの内容

①利用日は土、日、年始３日を除き、毎日実施
②利用料金は８００円
③機能訓練指導員による個別機能訓練の実施
④レクリエーション活動（風船バレー、文字カードゲーム、ペットボトルボーリングなど）
⑤クラブ活動（手工芸、クラフトバンド作品制作、折り紙、編み物など）
⑥バスハイク（季節に応じて、菜の花見学などバスハイクを実施）
⑦生活相談　利用者の生活や心身機能についての相談、援助等
⑧その他日常生活に必要なサービス

２．３　利用者状況

表２３、表２４に年間利用者数の推移を示す。平成２７年度の利用者の状況は、生きがいデイ４名、通所Ａの利用者５名となっている。利用延べ人数は生きがいデイが６５名と、通所Ａが１９名なっている。

２８年度以降は生きがいデイが廃止され、通所型Ａデイが総合事業デイへ移行されていくが、引き続き近隣地区及び利用者のいない地区への利用促進及びデイ利用者から情報をいただき、親戚、友人等へのアプローチを実施する必要がある。

表２３　生き甲斐デイ利用者数の推移

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	3月	合計
２５年度	8	8	7	7	6	6	5	4	8	6	6	7	78
２６年度	4	7	8	9	5	9	7	7	5	4	12	13	90
２７年度	9	8	9	5	3	4	5	4	5	4	4	5	65

表２４　二次予防デイ利用者数の推移

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	3月	合計
２５年度	9	8	4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	27
２６年度	0	0	0	0	4	4	5	0	0	0	0	0	13
２７年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

通所型サービスＡ利用者数の推移

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	3月	合計
２７年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	18	19

表２５　生き甲斐デイ地区別利用登録者数

居住地・性別	男	女	合計
中央町		1	1
栄町			
紺屋町			
大円寺町			
武家屋敷			
吉久木町			
上大津町			
下大津町			
合　　計		1	1

	最高	最低	平均
男			
女	92		92
全体平均　　92歳			

表２６　生きがい対応型・二次予防月別サービス実施回数及び利用者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	１月	2月	3月	合　計
実施日数	22	21	22	23	21	22	22	21	23	20	21	23	261
利用者数	9	8	9	5	3	4	5	4	5	4	4	5	65
1日平均	0.4	0.2	0.4	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

＊通所介護と合わせると、１日平均利用者数は　１０．７人

（２６年度は１日平均７．８人、昨年度より微増となっている。前年度と比較して利用者は増加してきているものの定員１５名には及ばないため、今後も要介護者を中心とした利用者獲得が最大の課題である）

２．４　行事実施内容

表２７　行事実施内容

	計　　画	実　　施		計　　画	実　　施
４月	花見 菜の花見学 誕生会 ｶﾗｵｹ 書道	花見（1～2日） 芝桜見学（22日） ﾊﾞｽﾊｲｸ（27日） ｶﾗｵｹ・手工芸	１０月	ｺｽﾓｽ見学 文化祭作品作り 誕生会	ｺｽﾓｽ見学（23日） 誕生会（29日） 文化祭作品作り
５月	菖蒲湯 手工芸 ｶﾗｵｹ 誕生会	菖蒲湯（5日） ﾊﾞｽﾊｲｸ（13、27日） ｶﾗｵｹ・手工芸 誕生会（18日）	１１月	文化祭見学 文化祭作品作り 誕生会	きじの里文化祭（15日） 誕生会（20、23日）
６月	紫陽花見学 七夕飾り作り 手工芸 ｶﾗｵｹ 誕生会	紫陽花見学（2日） ﾊﾞｽﾊｲｸ（2、4日） 七夕飾り作り ｶﾗｵｹ・手工芸	１２月	ｸﾘｽﾏｽ誕生会 門松作り	誕生会（17日） ｸﾘｽﾏｽ誕生会（23日） 門松作り（25日） ﾊﾞｽﾊｲｸ（30日）

７月	七夕祭り 文化祭作品作り 誕生会	七夕祭り（7日） ﾊﾞｽﾊｲｸ（9日） 誕生会（1、23日） 文化祭作品作り	１月	新年会 手工芸 ｶﾗｵｹ 書道 誕生会	初詣（4、6、7日） ｶﾗｵｹ・手工芸
８月	納涼祭 文化祭作品作り 誕生会	文化祭作品作り	２月	節分 手工芸 ｶﾗｵｹ 書道 誕生会	節分（3日） きじの里回転寿司（11日） ｶﾗｵｹ・手工芸 誕生会（16日）
９月	敬老会兼誕生会 避難訓練 文化祭作品作り	敬老会（21日） ﾊﾞｽﾊｲｸ（28日） 消防・避難訓練（25日） 誕生会（8日） 文化祭作品作り	３月	雛 祭 り 手工芸 ｶﾗｵｹ 書道 避難訓練 誕生会	雛祭り（3日） ﾊﾞｽﾊｲｸ（2日） 誕生会（3、23日） 消防・避難訓練（23日） ｶﾗｵｹ・手工芸

Ⅳ　訪問介護・介護予防訪問介護事業所きじの里の経営

１．サービス内容（訪問介護）

①利用日は、日曜日以外
②サービス提供時間帯は（平常の時間帯）午前９時～午後５時
③利用料はそれぞれのサービスについて介護報酬の１割が自己負担
④サービスの概要
（１）身体介護・・・入浴介助、排泄介助、食事介助、体位交換、通院介助等
（２）生活援助・・・調理、洗濯、掃除、買い物等
（３）通院等乗降介助・・・通院時に事業所のヘルパーが病院まで同行、車への乗り降りや屋内外における移動の介助、受診の手続きなどを行う。）
（19年8月より再開）

２．サービス内容（介護予防訪問介護）

①利用日は、日曜日以外
②サービスの概要
自立支援の観点から、利用者が出来る限り自ら家事等を行うことができるように支援することを目的としてして援助する。（調理・洗濯・掃除・買い物・薬の受取り代行）
③利用料はそれぞれのサービスについて介護報酬の１割が自己負担

３．利用者の状況

表２８　利用者介護度状況（２７年度利用者）

介護度	要支援１	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実 人 員	１０	8	5	3	0	1	0	２７

表２９　月別利用件数（実人数、平成２７年度）

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合　計
訪問介護	6	4	4	6	6	5	6	5	3	3	3	3	５４
予防訪問介護	15	14	15	15	15	15	14	12	11	8	4	4	１４２
合計	２１	１８	１９	２１	２１	２０	２０	１７	１４	１１	7	7	１９６

＊　２６年度１月あたり平均人数２０人
→　２７年度１月あたり平均人数１６人

４．利用状況の推移

①サービス種類別ヘルパー稼働時間（単位　〇時間：〇分）

表３０　訪問介護の月別稼働時間の推移

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合　計
身体	1:00	2:00	1:00	2:00	1:00	0:00	0:00	0:00	0:00	1:00	0:00	0:00	8:00
身生	7:00	6:00	7:00	10:10	7:00	15:00	19:40	16:00	16:00	16:00	15:00	18:00	152:50
生活	20:15	21:45	21:45	24:35	22:05	24:55	24:10	23:05	12:00	12:45	12:45	12:00	232:05
通院	0:20	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:20
計	28:35	29:45	29:45	36:45	30:05	39:55	43:50	39:05	28:00	29:45	27:45	30:00	393:15

表３１　介護予防訪問介護の月別稼働時間推移

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合　計
予防Ⅰ	60:00	48:00	59:00	61:00	49:00	53:00	47:00	44:00	44:00	24:00	17:00	15:30	521:30
予防Ⅱ	8:00	8:00	9:00	9:00	17:00	21:00	19:00	5:00	7:00	8:00	8:00	9:00	128:00
予防Ⅲ	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
計	68:00	56:00	68:00	70:00	66:00	74:00	66:00	49:00	51:00	32:00	25:00	24:30	649:30

＊　２６年度：１月あたり平均稼働時間　９７時間　１日あたり平均稼働時間：３．７時間

→　２７年度：１月あたり平均稼働時間　８６時間　１日あたり平均稼働時間：３．３時間

表３２　ヘルパー月間延べ利用回数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合　計
身体	1	2	1	2	1	0	0	0	0	1	0	0	8
身生	7	6	7	10	7	15	19	16	16	16	15	18	152
生活	27	29	29	33	28	31	30	28	16	17	17	16	301
通院乗降	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
予防	68	56	68	70	66	74	66	49	51	32	25	24	649
計	105	93	105	115	102	120	115	93	83	66	57	58	1,112

＊　２６年度１月あたり平均利用回数１０２回　１日あたり平均利用回数：３．９回

→　２７年度１月あたり平均利用回数　９２回　１日あたり平均利用回数：３．５回

表３３　特定旅客自動車運送事業月間延べ利用回数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合　計
訪問介護	2												2
予防訪問介護	4	4	2	2	2	2		4		4		2	26

＊　２６年度特定旅客自動車運送事業の年間利用回数は　５３回、１月あたり平均　４回

→　２７年度特定旅客自動車運送事業の年間利用回数は　２８回、１月あたり平均　２回

表３４　介護保険外ヘルパー自費利用月間延べ回数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合　計
自費２時間	1												1
院内介助30分													0

（職員配置2．5以上で時間内であれば援助可能：１時間２０００円）

２７年度は回数、時間ともに減少した。

特定旅客自動車運送事業についても、病院までの送迎希望者が減ったが、顧客ニーズに合ったサービスができるよう新規利用者の獲得が必要である。

Ⅴ　グループホームきじの里の経営

１．利用状況

平成２７年度中における各月１日現在の入所者数を表３５に示す。

表３６に、平成２８年３月３１日現在の地区別入所者数を示す。岐宿町４名、旧福江市３名、三井楽町１名、玉之浦町１名、奈留町、富江町からの利用が無い。今後、利用のない町の居宅介護支援事業所への情報提供を積極的に行う必要がある。

稼働率は、９７．８％、平均介護度は２．７、平均年齢は８８．５歳であった。

表３５　月別入退所者数の状況

	１日現在	月内の異動		当該月
	入所者数	入所	退所	延べ人数
平成２７年４月	9	0	0	9
平成２７年５月	9	0	0	9
平成２７年６月	9	0	1	9
平成２７年７月	8	1	0	9
平成２７年８月	9	0	0	9
平成２７年９月	9	0	0	9
平成２７年10月	9	0	1	9
平成２７年11月	8	1	0	9
平成２７年12月	9	0	0	9
平成２８年１月	9	0	0	9
平成２８年２月	9	0	0	9
平成２８年３月	9	0	0	9

表３６　地区別入所者の状況

地　区	男性	女性	入所
旧福江市	1	2	3
岐　宿　町	0	4	4
玉之浦町	0	1	1
三井楽町	1	0	1
合　　計	2	7	9

表３７　入所者の要介護度

区　分	男	女	計
要介護１	1	1	2
要介護２	1	3	4
要介護３	0	2	2
要介護４	0	1	1
要介護５	0	0	0
合　　計	2	7	9

表３７に、平成２８年３月末日におけるグループホーム利用者の介護度を示す。

表３８、表３９に、平成２６年度、２７年度介護度別の延べ人数を示す。延べ人数では２６年度と比較すると４８人の増。ご利用者の健康管理に努め、病気の早期発見・早期治療を心がけ医療機関との連携を強化し、疾病の悪化や進行を防ぐことができた。

表３８　　２６年度要介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護１	14	31	30	31	31	30	31	30	31	0	13	31	303
要介護２	150	146	143	142	149	180	186	180	159	211	152	155	1953
要介護３	60	62	60	62	60	60	62	60	62	62	56	62	728
要介護４	30	31	30	31	13	0	0	0	0	0	0	0	135
要介護５	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	31	54
計	254	270	263	266	253	270	279	270	252	273	244	279	3173

表３９　　２７年度要介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護１	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	58	62	732
要介護２	100	93	90	118	122	120	124	120	124	124	116	124	1375
要介護３	46	51	60	62	58	60	62	58	62	62	58	62	701
要介護４	0	31	23	0	0	0	0	30	31	31	29	31	206
要介護５	30	31	30	31	31	30	24	0	0	0	0	0	207
計	236	268	263	273	273	270	272	268	279	279	261	279	3221

２．年間行事実績

表４０に平成２7年度中に実施した行事等を示す。住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、常にご利用者の心身の状況を把握して、心穏やかに安心して過ごせるようサービスの提供に務めた。積極的に社会参加ができるよう、外出などの機会を多く持ち個別のニーズを把握して支援を行った。また、残存機能を活かした生活リハビリを継続し、ご利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活が送れるよう個別ケアに努めた。

年２回の防火訓練を実施し、３月の訓練では夜勤者を主体とした夜間避難訓練を行い職員の防災意識の向上を図った。

表４０　平成２７年度行事実施状況

月	行事計画	日	実　　施
4月	花見：ﾊﾞｽﾊｲｸ 誕生会	3 23 23 25	花見(繁敷ﾀﾞﾑ：9名) 誕生日昼食会 花の植え替え 菜の花見学 ワックスかけ
5月	母の日 誕生会 運営推進会議 外食	4 8 10 31	夏野菜の植え付け 外食:三井楽ﾌﾞﾙﾜﾘｰ 母の日昼食会 運営推進会議（第1回） つわむき
6月	運動会 父の日 紫陽花見学	6 21 22 29	きじの里運動会 父の日昼食会 梅干し作り 紫陽花見学 夏野菜収穫
7月	七夕会 文化祭作品作 りおやつ作り 運営推進会議	7 21 22 29	七夕昼食会 手芸（貼り絵） ホットケーキ作り 運営推進会議（第2回）
8月	納涼祭 墓参り	8 21 28	きじの里納涼祭 墓参り（岐宿） 夏野菜の収穫
10月	花見 避難訓練 誕生会	1 15 20 24	ｺｽﾓｽ花見（漁津ケ崎） 避難訓練（昼間想定） 誕生会 実地指導 野菜の植え付け
11月	文化祭 誕生会 運営推進会議	14 24 28 30	買い物ﾂｱｰ（つばき屋） きじの里文化祭 誕生会 運営推進会議（第4回） ワックスかけ
12月	クリスマス 誕生会 もちつき そば作り	14 24 28 30 31	山内保育園お遊戯見学 ｸﾘｽﾏｽ会：誕生会 餅つき 手打ちそば作り 年越し準備
1月	新年祝賀会 初詣 鏡開き 運営推進会議	1 3 11 22	新年会 初詣 ぜんざい会 切り干し大根作り 運営推進会議（第5回）
2月	節分 おやつ作り	3 4 25	節分豆まき 雛人形飾り付け どら焼き作り

	おやつ作り		かき氷作り
9月	おやつ作り	21	きな粉団子
	敬老祝賀会	26	敬老会昼食会
	運営推進会議	29	運営推進会議（第3回）
		30	コスモス見学

3月	雛祭り	3	雛祭り：誕生日昼食会
	運営推進会議	20	避難訓練（夜間想定）
	誕生会	25	運営推進会議（第6回）
		28	菜の花見学

＊回診は２週間に１回。訪問看護は毎週火曜日。個別のニーズを把握しその都度、自宅への外泊・外出、美容院への外出、買い物など、積極的に地域へ出かけ自立した生活が送れるように支援した。

３．施設内研修

知識と技術向上のための内部研修を実施した。職員のレベルアップに取り組みご利用者の変化に迅速に対応できるよう、介護のプロとしてケアサービスの質の向上や、自己啓発に取り組んだ。

表４１　平成２７年度施設内研修会・勉強会の開催状況

開　催　日	研修会・内容	参加者
4月15日 〈認知症について〉	・認知症の種類とケアの方法について	計7名
5月28日 〈倫理、法令遵守について〉	・倫理、法令遵守とは	計7名
6月29日 〈接遇勉強会〉	・言葉遣い、コミュニケ-ションについて	計7名
7月29日 〈虐待について〉	・高齢者虐待のサインと、虐待が起きる原因について	計7名
8月29日 〈リスク勉強会〉	・事故の再発防止について	計7名
9月26日 〈看取り勉強会〉	・重度化した場合の指針と看取りの同意について	計7名
10月29日 〈身体拘束について〉	・身体拘束とは何か？何が問題か？	計7名
11月30日 〈感染症勉強会〉	・感染症の予防とまん延防、嘔吐物処理について	計7名
12月15日 〈服薬支援について〉	・高齢者の介護と薬について（服薬支援の注意点）	計7名
1 月21日 〈入浴介助〉	・高齢者の入浴介助と介助時の注意点について	計7名
2 月20日 〈介護保険について〉	・介護保険とケアプランについて	計7名
3月 29日 〈リスク勉強会〉	・夜間帯における火災発生時:災害時の対応について	計7名

Ⅴ　グループホーム清風の経営

１．　利用状況

平成２７年度中における各月1日現在の入所者数を表４２に示す。

表４３に、平成２８年３月３１日現在の地区別入所者数を示す。各町からの利用があった。退所者４名。

表４４に要介護度別入所者数を示す。稼働率は９６．８％、平均介護度３．１、平均年齢は８８歳であった。

表４２　月別入退所者数の状況

	１日現在	月内の異動		当該月
	入所者数	入所	退所	延べ人数
平成２７年４月	9	0	0	9
平成２７年５月	9	0	1	9
平成２７年６月	8	1	0	9
平成２７年７月	9	0	0	9
平成２７年８月	9	0	0	9
平成２７年９月	9	0	0	9
平成２７年10月	9	0	1	9
平成２７年11月	8	1	0	9
平成２７年12月	9	0	0	9
平成２８年１月	9	0	0	9
平成２８年２月	9	0	0	9
平成２８年３月	9	2	2	１１

表４３　地区別入所者の状況

地　区	男性	女性	入所者数
旧福江市	0	6	6
岐　宿　町	0	1	1
奈　留　町	0	1	1
三井楽町	0	0	0
富　江　町	0	1	1
合　　計	0	9	9

表４４　入所者の要介護度

区　分	男	女	計
要支援２	0	1	1
要介護１	0	0	0
要介護２	0	2	2
要介護３	0	2	2
要介護４	0	3	3
要介護５	0	1	1
合　　計	0	9	9

表４５、平成２６度、表４６　２７年度の介護別延べ人数を示す。

延べ人数では、２６年度と比較すると１６人の増。入院日数９０日、退所後の入所までの日数と外泊が空所の原因。２７年度は「予防・要支援２」の利用があった。待機者確保については、各居宅介護支援事業所や家族様、本人様の見学や電話問い合わせ等も多く情報提供を行った。

表４５　平成２６年度　要介護度別延べ人数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合　計
要支援２	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護１	60	62	60	62	20	9	0	23	31	43	55	62	487
要介護２	0	19	16	0	31	30	31	30	31	31	28	31	278
要介護３	90	93	90	93	93	90	93	84	82	93	84	93	1078
要介護４	60	62	74	78	93	82	120	90	93	72	56	62	942
要介護５	54	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	389
	264	267	270	264	268	241	275	257	268	270	251	279	3174

表４６　　平成２７年度　要介護度別延べ人数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合　計
要支援２	0	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	336
要介護１	56	30	6	0	0	0	0	30	0	0	0	0	122
要介護２	30	31	76	62	62	60	62	60	31	31	29	26	560
要介護３	90	78	90	93	93	90	91	60	62	62	48	62	919
要介護４	60	62	60	85	93	90	93	60	124	124	116	99	1066
要介護５	30	5	0	0	0	0	0	30	31	31	29	31	187
計	266	237	262	271	279	270	277	270	279	279	251	249	3190

２．年間行事実績

表４７は平成２７年度中に実施した行事、活動状況を示す。個別に合わせたレクレーションや日常生活でのリハビリや作業で「精神安定」になり「役割、活気、自信」を取り戻すなど残存機能の活用になった。

表４７　行事実施状況

月	主な行事予定	日	実　　績
4	花見 畑・花壇の整備 山菜採り 御大師参り 菜の花、桜花見	5, 17 １０ ２１ ２５	桜、ツツジ花見、菜の花花見は随時 散髪送迎 御大師様参り 買い物（近所）） 山菜採り
5	母の日 運営推進会議 誕生会 散髪	1, 7, 25 １０ １９	ドライブ 誕生会、母の日（運動会ﾚｸﾚｰｼｮﾝ） 運営推進会議（１回目） 買い物ドライブ（随時） 随時の受診（眼科、歯科、皮膚科）
6	健康診断（受診時） 紫陽花花見	３ ６ ９ １８ 22, 25	散髪 きじの里運動会 歓迎会 紫陽花見物 ドライブ花見（随時）） 健康診断
7	七夕祭り 定期健康診断（受診時） 環境整備（菜園、ワックス、すだれ）	1, 7, 17 ７ １６ ２１ ２７	ドライブ 七夕会、誕生会 運営推進会議（２回目） 家族様、主治医、訪問看護会議 友人宅訪問送迎
8	きじの里納涼祭 盆の準備・帰省 ちゃんここ 環境整備	３ ８ １３ ２５	散髪 きじの里納涼祭 チャンココ見物 ドライブ
9	敬老会　誕生会家族交流会 散髪 運営推進会議 総合避難訓練	7, 9, 11 １８ １８ ２５ ２９	ドライブ 敬老会家族交流会、誕生会 ふるさと館外食 避難訓練　（夜間想定） 運営推進会議（３回目）
１０	福江祭り見物	１	誕生会

	野菜収穫 花見、ドライブ	３ １１ 2,5,9 ２２	福江祭り見物（アーケード） 芋掘り 花見ドライブ、花壇整備（随時） 散髪
１１	散髪 きじの里文化祭 干し柿作り インフルエンザ接種	5,26, 6,18 ５ 14,25 １５ ２５	ドライブ（荒川） インフルエンザ接種 歓迎会 自宅外出 きじの里文化祭 干し柿作り
１２	クリスマス会、誕生会 外部評価 大掃除 正月準備 運営推進会議	２ 1,14, 21,27 １０ ２０ ２５	誕生会 ドライブ 買い物 運営推進会議（４回目） クリスマス誕生会 お正月飾り付け
１	元旦 新年会 初詣 誕生会 散髪	１ ３ １０ ２８	元旦　新年会　初風呂 初詣（城山神社）自宅訪問 自宅外出 運営推進会議（５回目）
２	節分 花壇の手入れ（随時）	2,6,19 ３ ８ １０ １９	ドライブ（随時） 節分 散髪 干し大根作り 、ほうれん草収穫 自宅外出
３	運営推進会議 ひな祭り会 誕生会 山菜採り 総合避難訓練 散髪	1,2,28 ３ １０ １３ ２３ ３０	ドライブ(焼き芋、リンゴパン買い物) ひな祭り会、送別会 運営推進会議（６回目） 歓迎会 避難訓練（昼間想定） お茶会（茶道）家族交流会

訪問看護は毎週月曜日。定期往診は毎月１回。
環境整備（ワックス掛け大掃除、衣替え、施設外の草取り、害虫駆除消毒、防火器具点検）
（布団干し、シーツ交換、洗車、浴槽消毒）

３．施設内研修

統一したケア及びチームケアを目標に内部研修を実施した。グループホーム職員としての知識、技術を職員全員が学び資質の向上に努めた。

表４８　平成２７年度施設内研修会・勉強会の開催状況

開催日	研修会内容	参加者
４月１１日	摂食、燕下、口腔ケアとは何か？ 病院受診の方法について	７名
５月１９日	認知症ケアについて 倫理、法令遵守、プライバシー保護	７名
６月　９日	急変時の対応 誤燕、異食時、内服薬についての対応	７名
７月　６日 ７月１９日	介護保険改正について（グループホームとは？） 脱水症、熱中症対策について	７名
８月１６日	皮膚のトラブル（乾燥肌、褥創、バイタル測定方法	７名

９月　　９日	看取りケアについて 接遇について（言葉遣いコミュニケーション）	７名
１０月１５日	リスク勉強会（ヒヤリハットとは？転倒事故の要因 再発、事故予防策について	７名
１１月１５日	感染症、食中毒、まん延予防	７名
１２月１５日	高齢者虐待防止、身体拘束、認知症と精神疾患）	７名
１　月２０日	緊急時、自然災害時の対応について	７名
２　月１４日	褥そう予防（体位変換、清潔保持）	７名
３　月１５日	必要な介護記録について	７名

Ⅶ　居宅介護支援事業所きじの里の経営

１．要介護度別利用状況

全体の登録者数は20名増加した。これは昨年10月より五島市が総合支援事業を開始し、事業対象者として認定された方達の受託を受け入れたためである。特に生き甲斐デイが非該当になった人、新規者の掘り起こしが受託へと結びついている。新規利用者30名（要支援者15名含む）、短期入所利用から施設入所を目的としたケース（重度者）や、認知症の悪化等から予防からの移行も軽度者の中には15名ほどあった。終了ケースに於いては、施設利用７名、死亡５名、介護予防へ９名、グループホーム等の施設利用が４名の移動があっている。例年と大きな変化はなく施設入所や介護予防への移行が主になっている。全体的に見ると事業対象者から要介護２までの軽度者が９割を占めており、今後重度者の獲得が大きな課題となっている。

表４９　利用者の要介護度別認定者

	男	女	合　計
事業対象者	６	１７	２３
要支援１	７	２０	２７
要支援２	５	１７	２２
要介護１	４	１４	１８
要介護２	１	２	３
要介護３	１	２	３
要介護４	４	２	６
要介護５	０	１	１
合　　計	２８	７５	１０３

※表４９、図３には予防プラン受託者・事業対象者数を含む

図３　介護度別利用者数

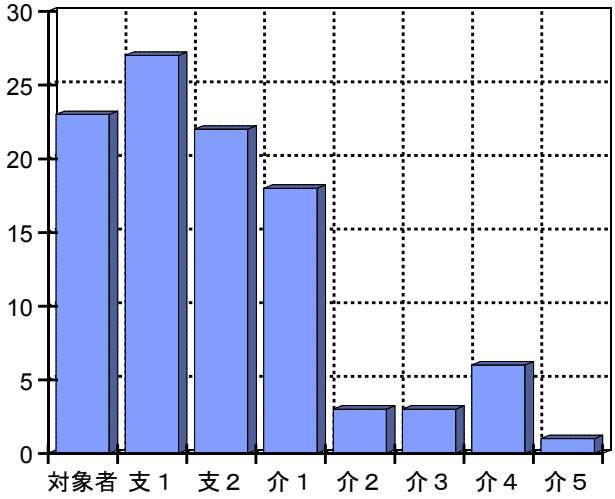
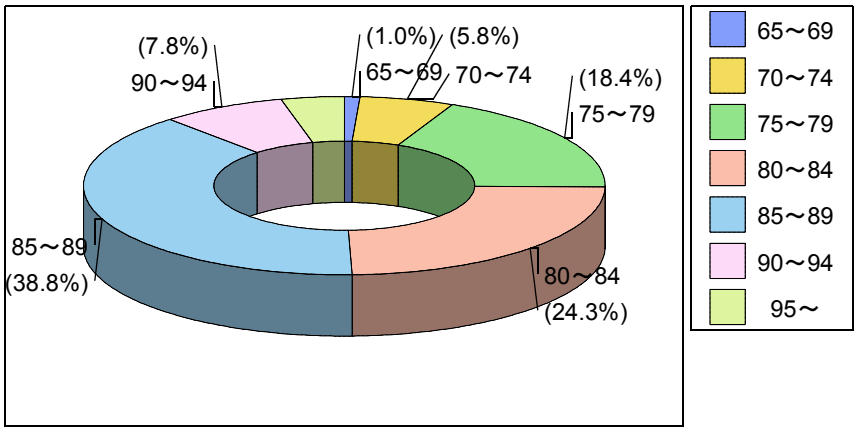


表５０　年齢別利用者数

区　分	男	女	計
65～69	１	０	１
70～74	２	４	６
75～79	５	１４	１９
80～84	５	２０	２５
85～89	１３	２７	４０
90～94	２	６	８
95～	０	４	４
合　　計	２８	７５	１０３

図４　年齢別分布



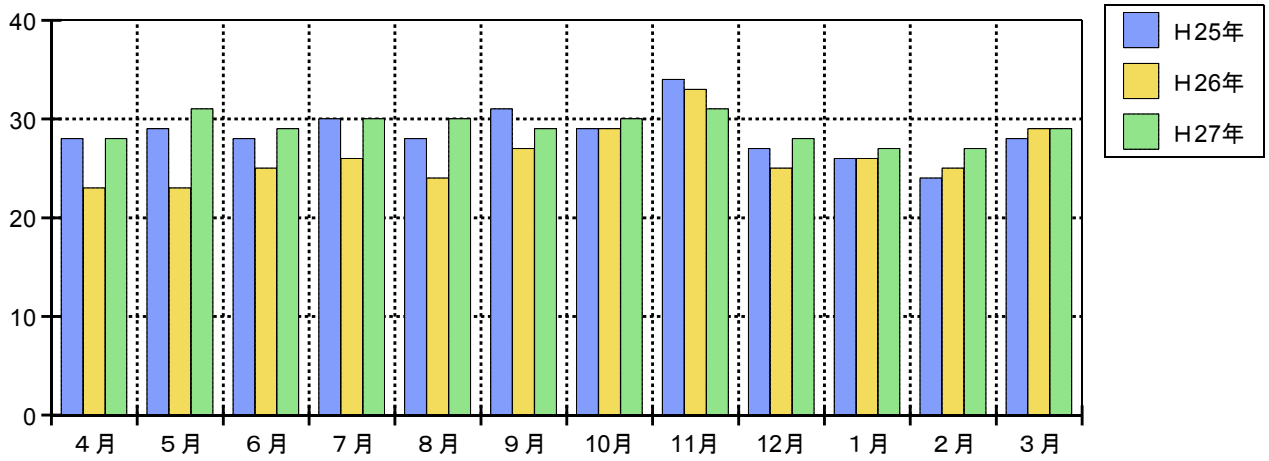
２．給付管理表の提出状況

要介護者の登録者数は新規者の掘り起こしなど行い若干の増加が見られている。入院中やサービス未利用の利用につながらない利用者の方も数名程おられる。

表５１　給付管理表の提出状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計
H18年	74	74	64	58	56	53	52	44	44	38	41	34	632
H19年	34	34	32	37	31	32	30	35	31	32	28	29	385
H20年	33	29	28	27	25	30	30	27	28	25	25	27	334
H21年	30	32	29	28	26	29	29	29	29	33	32	27	351
H22年	32	29	29	29	28	28	27	25	30	31	28	32	348
H23年	29	25	28	29	27	26	25	25	23	25	25	26	313
H24年	27	30	28	31	29	28	34	31	33	25	27	30	353
H25年	28	29	28	30	28	31	29	34	27	26	24	28	342
H26年	23	23	25	26	24	27	29	33	25	26	25	29	315
H27年	28	31	29	30	30	29	30	31	28	27	27	29	349

図５　給付管理表の提出状況



３．予防給付プラン・総合支援事業プラン作成件数

新規登録者14名、要介護から移行するケース９件、要介護への移行も15件程あった。申請中に見込みでのサービス利用を開始して受託を受けるケースや、生き甲斐デイ非該当となった人等の事業対象者への掘り起こしなどが増加につながった。事業対象者はチェックリストにての判定となるため比較的軽度者でも認定を受けることが出来る様になり、今後受託ケースが増えていく傾向にある。しかし要支援者が総合支援事業に移行するため予防プランについては減少していく事が見込まれる。

表５２　予防プラン作成状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計
Ｈ18年	2	4	10	14	17	20	18	21	21	23	25	32	207
Ｈ19年	34	33	35	37	38	37	37	35	33	34	36	37	426
Ｈ20年	36	39	39	38	36	34	34	34	34	34	35	35	428
Ｈ21年	39	39	40	40	40	41	43	42	42	41	44	40	491
Ｈ22年	42	44	44	45	41	42	38	40	39	38	37	35	485
Ｈ23年	36	36	38	40	39	38	35	37	39	38	39	39	454
Ｈ24年	36	38	38	36	36	37	39	36	37	37	41	44	455
Ｈ25年	46	49	49	47	44	47	47	45	46	44	43	45	552
Ｈ26年	43	44	44	43	46	45	45	45	47	45	42	43	532
Ｈ27年	44	43	44	46	46	50	43	40	40	34	31	28	489

表５３　総合支援事業プラン作成状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計
Ｈ27年							5	8	10	15	23	30	91

Ⅷ　五島市在宅介護支援センターきじの里の経営

１．事業実績累計

Ｈ26年度は殆ど相談ケースとしてあげることはなかったがＨ27年度はチェックリスト調査を行う前に事前に相談受付を上げることで多少件数は伸びた。今後新規者の調査の時はこのような方式で少しでも件数を増やすようにしていきたい。

表５３　相談受付件数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計
電　　話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
来　　所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
訪　　問	0	0	0	0	0	3	0	2	0	3	6	2	１６
計	1	0	0	0	0	3	0	2	0	3	7	2	１８

２．実態把握件数

配食サービスは年２回の調査、生き甲斐デイサービス・ホームヘルプサービスは更新のため年１回の調査となっている。昨年に比べ配食調査が半数ほどに減少した。これは入所施設系のサービスを利用する方が増えたためと考えられる。また生き甲斐デイサービスもＨ27年度非該当となった方が多く、全体の調査件数は前年の半数にとどまった。生き甲斐デイ、老人ヘルパーは今年度より事業対象者として総合支援事業でのサービスとなるため今後は配食調査のみの依頼となる見込みである。

表５４　実態把握件数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計
配　食	2	1	8	0	1	0	1	0	7	0	0	0	２０
生きﾃﾞｲ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	5
ヘルパー	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
計	3	2	8	0	1	0	1	0	7	6	0	0	２８

Ⅸ　介護報酬の状況

表５５に、平成２７年度における特別養護老人ホーム（入所事業・短期入所事業・ﾍﾙﾊﾟｰ事業・居宅介護支援）、デイサービスセンター、在宅介護支援センター、認知症対応型共同生活介護事業の収入状況を示す。

特養全体の収入は２７６，１７８千円で前年度（２７５，３９８千円）と比較して７８０千円の収入増となった。特養については昨年度とほぼ同じ収入であった。ショートステイについては、利用者は若干増えたが、介護度が下がった事と看護体制加算が算定出来なくなった為５５３千円減収。居宅介護支援事業については、１０月より総合事業が始まり新規利用者が増えた為、８０１千円増収となった。デイサービスきじの里は、生き甲斐デイサービス対象者が非該当認定となり、総合事業への移行した為９５５千円減収。グループホーム清風は、延べ人数は増えたが介護度が下がり５７９千円の減収となった。デイ清風は大幅に利用者が増え３，８６８千円の収入増となった。

表５５　事業別収支状況（単位：千円）

	特別養護老人ホーム						デイサービスきじの里			在宅	ｸﾞﾙｰﾌﾟ	ｸﾞﾙｰﾌﾟ	
	介護老人福祉施設	短期入所生活介護	訪問介護	居宅支援	支援費ｼｮｰﾄ	合計	通所介護・介護予防	生き甲斐	合計	介護支援ｾﾝﾀｰ	ﾎｰﾑきじの里	ﾎｰﾑ清風	デイ清風
27年	230,332	33,854	4,418	6,903	671	276,178	32,626	827	33,453	388	33,322	33,089	20,093
26年	230,363	34,407	4,323	6,102	203	275,398	32,475	1,933	34,408	446	33,263	33,668	16,225
増減	△　31	△　553	95	801	468	780	151	△1,106	△　955	△ 58	59	△579	3,　868
25年	228,380	35,386	3,375	6,457	1,140	274,738	33,047	2,158	35,205	474	33,513	34,504	10,050
24年	232,070	40,704	3,212	6,368	240	282,594	38,290	3,745	42,035	508	33,267	34,612	10,519
23年	232,383	40,651	4,067	5,768	44	282,913	39,025	4,225	43,250	519	33,956	34,953	4,392
22年	211,407	27,437	5,745	6,430	125	251,144	41,774	3,938	45,712	563	33,997	32,743	―
21年	194,895	34,885	6,223	6,545	52	242,600	38,702	3,622	42,324	615	32,396	32,362	
20年	185,577	28,018	4,391	5,737	0	223,723	40,267	4,500	44,767	785	32,562	31,848	
19年	186,828	25,490	4,640	6,303	44	223,305	40,966	4,902	45,868	787	32,735	32,033	
18年	185,419	23,560	4,079	7,538	0	220,596	38,962	5,200	44,162	827	32,442	32,646	
17年	192,209	18,337	5,910	9,554	351	226,361	42,827	7,748	50,575	4,562	31,940	31,539	
16年	198,213	20,376	7,871	10,504	1,499	238,463	44,469	4,476	48,945	3,593	32,049	32,838	
15年	199,940	25,334	6,774	10,192	665	242,905	39,387	4,871	44,258	3,389	32,781	33,605	
14年	208,561	22,371	3,708	7,403	―	242,043	33,779	5,641	39,420	4,602	30,627	15,331	
13年	205,728	21,065	2,062	6,551	―	235,406	30,203	6,326	36,529	4,585	26,951	―	
12年	198,025	11,906	―	7,080	―	217,011	29,642	7,097	36,739	4,432	26,787	―	

Ｘ－１　事故、ヒヤリ・ハット発生状況（特養きじの里）

１．１　事故発生状況

表５６に平成２７年度中における事故発生件数を示す。２６年度の１２８件に対して２７年度は１４６件と１８件の増加となっている。主な事故は外傷７６件（前年７２件）。外傷７６件（前年７２件）で事故原因の７２％、打撲１８件（前年１１件）で１２．３％、転倒１４件（前年１５件）で９．５％となっている。外傷については、高齢者の皮膚は剥離しやすく、介助面、環境面から細心の注意をはらい起居や移乗毎の皮膚観察やスキンケア等を実施している。また圧力によるものか？疾患に起因するのもなのかも看護職員の判断をいれて対応を行っている。介助中や自力での件数は減少してるが以前不明が増えており不明部分の究明が今後の外傷減少へのポイントとなると思われる。

骨折４件の内訳は、介助中の恥骨骨折1件。病院受診中の転倒骨折1件。発生時点不明２件が報告されてる。

リスク委員会では、事故を減らすための目標を各セクションで毎月たて実施し評価する方法で、各部署にて定期及び問題発生時に原因究明をするなどし、事故を念頭にいれて活動するなどしている。また部署によっては危険予知トレーニング（ＫＹＴ）を行うなどに活動をおこなっている。

表５６　事故報告件数（特養きじの里）

	事　故	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計	
骨　折	介助中	2												2	
	自力														
	不明					1			1					2	4
外　傷	介助中	4	1	2	6	1		4	1		3		3	25	
	自力	1		2	2	5		1				1		12	
	不明	3	5	9	5	1	1	2	4		5	4		39	76
打　撲	介助中						1							1	
	自力						2	1						3	
	不明	2			2	6	2			1	1			14	18
転　倒	トイレ使用中		1				1			2				4	
	居室	2						1			2	2		7	
	車椅子からの立ち上がり				1									1	
	廊下・ホール										1	1		2	14
転　落	椅子								1					1	
	車椅子								1					1	
	ベッド				1									1	3
滑　落	椅子													0	
	車椅子				1					1				2	
	ベッド										1			1	3
経管バルーン抜去	介助中	1						1	1	1				4	
	自力			2										2	6
火　傷	介助中													0	
	自力													0	0
異　食	食べられない物を口に入れた		1											1	1
誤　嚥	物をのどに詰らせた													0	0
誤　薬	誤った薬を服薬	1				1			1					3	3

外　出	敷地外まで外出												2	2	2
その他	車両破損、トラブル		2	2		1	1			5	2	2	1	16	16
合　　計		16	10	17	18	16	8	10	10	10	10	15	6	146	146

１．２　ヒヤリ・ハット報告状況

表５７にヒヤリ・ハット報告状況を示す。平成２７年度のヒヤリハット総計は４１６件（前年３７８件）で１０%の提出件数の伸びがあり月平均３５件ペースであった。
内訳は危険行動１０４件で全体の２５%にあたる。以下、滑落９１件２１%、転倒８０件１９%を占めている。部署別提出は１．２丁目で１６４件月平均１３．６%の提出。３．４丁目６３件月平均５．２５件、５．６丁目１１２件月平均９．３%、デイ５２件月平均４．３件、ＧＨきじ２５件月平均２．０８件であった。１．２丁目は滑落、危険行動で５６%、３．４丁目は滑落、危険行動で６９%、５．６丁目で転倒、滑落、危険行動６７%、デイは転倒で７１%、ＧＨきじは転倒、転落で５６%をしめている。
件数的にはまだまだ少ないと思える。部署によってはヒヤリハットの提出を目標に定め取り組みを行っている。２８年度は利用者様の視点に立ち、気づく力をさらに養えるように、リスク委員会と研修委員会との連携を図りながら啓蒙を行っていく。

表５７　ヒヤリハット報告件数（特養きじの里）

ヒヤリハット		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合　計	
ﾄﾗﾌﾞﾙ	利用者同士の暴力・暴言											1	1	1	1
転倒	転倒しそうになる	2	4	9	4	5	5	3	71	5	7	5	5	61	
	転倒したが外傷なし	1	2	2	1		3		1	4	3	2		19	80
転落	転落しそうになる	3		1	1	1	1	1	1		2		3	14	
	転落したが外傷なし		1				1			1	1	1	1	11	25
滑落	滑落しそうになる	1	3	1	3	1	1	4	3	5	6	1	1	30	
	滑落したが外傷なし	7	5	7	6	7	7	3	5	5	2	1	6	61	91
危険行動	自立歩行困難者が歩行した	6	9	10	3	3	7	4	12	2	10	5	11	82	
	〃　立ち上がろうとした			1	1	4	1	4	3	3	1	3	1	22	104
異食	害にならない物を口にし、はき出した			1		1	2		2	1	1	1	1	10	
	〃　口にいれようとした					1		1		1			1	4	14
誤配	薬を誤配し、飲む前に気づいた			1	1	1	1		1			1		6	6
外出	敷地内外出	1	2			2	2	3	1	2	3		1	17	17
車事故	利用者乗車中の事故、外傷無														
その他	ﾌﾞﾚｰｷかけ忘れ	8	7	6	10	9	2	8	6	7	11	4		78	78
合　計		29	33	39	30	35	33	32	44	38	46	25	32	416	416

Ｘ－２　事故、ヒヤリ・ハット発生状況（GHきじの里）

２．ＧＨきじの里

２．１　事故発生状況

表５８に平成２７年度中における事故発生件数を示す。２７年度は１１件の事故が報告されている。主な事故は骨折２件（圧迫骨折1件）、外傷４件、打撲４件、誤薬１件であった。骨折の原因は転倒によるもので発生場所は居室や廊下であった。ご利用者の心身の状態を把握し、職員間の情報共有を図りながら、今後も安全管理に対する考え方を

再認識し業務にあたる事が必要である。また、事故を未然に防ぐ取り組みを強化し、介護技術の向上を図るよう取り組んで行く。

表５８　事故報告件数（ＧＨきじの里）

	事　　故	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計	
骨折	介助中													0	2
	自力	1								1				2	
	不明													0	
外傷	介助中						1							1	4
	自力				1							1		2	
	不明	1												1	
打撲	介助中		1									1		2	4
	自力			1							1			2	
	不明													0	
誤薬	誤った薬を服薬					1								1	1
合　　計		2	1	1	1	1	1	0	0	1	1	2	0	11	11

２．２　ヒヤリ・ハット報告状況

表５９にヒヤリ・ハット報告状況を示す。平成２７年度は、２８件のヒヤリ・ハットの報告が提出された。全体的な傾向としては転倒が多く発生した。発生状況から時間帯や発生場所などを分析した結果、同じ時間帯や精神状態に変化がみられる状況での件数が多い。職員1人1人が事例を十分理解し、ご利用者の精神面、環境の変化による行動の変化を十分に注意し介助を行う必要がある。また、職員間の連携と情報の共有化を図り事故を未然に防止できるように取り組んで行く。

表５９　ヒヤリハット報告件数（ＧＨきじの里）

ヒヤリハット		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計	
ﾄﾗﾌﾞﾙ	利用者同士の暴力・暴言													0	0
転倒	転倒しそうになる								1				2	3	13
	転倒したが外傷なし	1	1	1	1				1	1	2	1	1	10	
転落	転落しそうになる			1										1	1
	転落したが外傷なし													0	
滑落	滑落しそうになる													0	0
	滑落したが外傷なし													0	
危険行動	自立歩行困難者が歩行した				1	1	1	1						4	4
	〃　立ち上がろうとした													0	
異食	害にならない物を口にし、はき出した													0	1
	〃　口にいれようとした							1						1	
誤配	薬を誤配し、飲む前に気づいた								1					1	1
外出	敷地内外出	1				1		1						3	3
車事故	利用者乗車中の事故、外傷無													0	0
その他	ﾌﾞﾚｰｷかけ忘れ	3							1			1		5	5
合　　計		5	1	2	2	2	1	3	4	1	2	2	3	28	28

Ｘ－３　事故、ヒヤリ・ハット発生状況（GH清風）

３．ＧＨ清風

３．１　事故発生状況（集計表は省略）

事故発生については、平成２７年６月に１件（転倒事故）の報告があった。居室内で転倒し、右大腿部を骨折された。普段からベッドの端に横になりがちで端座位の位置が浅く、立ち上がりきれずに転倒。はき慣れてはいたが滑りやすいスリッパであった事、早朝の行動を予測できなかった事も原因と考えられた。今後も、利用者様の行動、病歴把握、精神面、環境面等の把握、職員の対応等ヒヤリハットの検討、連絡帳、申し送り等情報の共有を図りながら、再発、

事故防止に努める。

３．２　ヒヤリ・ハット報告状況　　表６０

平成２７年度は報告件数１２３件。危険行動が８７件。入所間もない利用者様のヒヤリハット件数が多く、「自力でできる」という思いや「施設生活に不安」等の行動ではないか？又、退院後の「普通の生活」への開放感等「環境の変化」も危険行動に現れた。職員間での情報共有することで大事にならなかったが、今後も利用者様の気持ちを受け止め、安心できる環境整備、排泄パターン、その日の精神状態、睡眠、基本情報、サマリー等を把握する事が重要。職員一人一人の気づきを「ヒヤリハット」に反映させ、早急に対応策を検討し事故防止に努める。

表６０ ヒヤリハット報告状況（ＧＨ清風）

ヒヤリハット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計	
転倒	転倒したが外傷なし														
	転倒しそうになる		1			1		1	1		1	2		7	7
転落	転落しそうになる												2	2	
	転落したが外傷なし													0	2
滑落	滑落しそうになる									1	1			2	
	滑落したが外傷なし			1	1						1	1		4	6
危険行動	歩行困難者が歩行した			1	7	6	4	2	2	3	1	3	2	31	
	〃立ち上がろうとした,膝折れ		2	2	5	2		1	1	2	3	1		19	87
	〃トイレ使用		1	1		2	2	1				3		10	
その他	〃移乗、起きあがり	2	4	3	4	1	3	1	1	4	2	1	1	27	
異食	無害な物を口に入れ、吐き出した	1									1			2	2
誤燕	誤燕しそうになる										1			1	1
外出	外へ出ようとした				2				1		1		2	6	6
介護ミス	薬のセットミス								1					1	
	手をはさみそうしなる					1								1	3
	隣の人の薬を飲もうとした			1										1	
その他	利用者同士のトラブル		2											2	
	利用者様が自力でサッシ,ドアの開閉	2												2	
	トイレに湿布を流しそうになった						2							2	9
	利用者様が車椅子をおそうとしていた				1									1	
	お茶をこぼした							2						2	
合　計		5	10	9	20	13	11	8	7	10	12	11	7		123

ＸＩ　生活困窮者対策実施状況

社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減制度における、平成２７年度の実績（減免した延べ人数、施設が負担した額）を表６１に示す。本年度の施設サービスにおける減免対象者は延べ３１７人、減免額は３，６８１，３７４円であった

また、居宅サービスにおける減免対象者は延べ２８人、減免額は３４２，２２１円であった。きじの里全体では、減免対象者は延べ３４５人、減免額は４，０２３，５９５円であった。

表６１　利用料減免額

きじの里	のべ人数※	１割負担分	食　費	居　住　費	不　明	負担額合計
施設サービス	317	372, 871	927, 160	2, 381, 343		3, 681, 374
居宅サービス	28	24, 517	43, 202	274, 502		342, 221
合　計	345	397, 388	970, 362	2, 655, 845	0	4, 023, 595

※のべ人数は月単位。